

SA 吹田通信 第26号

2005年7月

発行 SA吹田事務局 〒565-0806 吹田市樫切山21-D-808 TEL/FAX 06-6876-1659

(^o^) ひがさいっ子ステーション (^o^)

八木秀雄 (SA 16期)

東佐井寺小学校の児童は、略して「ひがさい」と言っている。地域こども教育推進事業として、吹田市は平成15年12月より、こども居場所づくりの場所を確保する事業をはじめており、さらに平成17年度からこどもプラザ事業を地域共々、協力していく事になり、既に佐井寺中学校区では、佐井寺小学校で第一土曜日に学校施設を利用して交流が始まっており、地元だけではなく出向いて行く事が多くなりました。

この度、青少年対策、福祉、小学PTAが主体となり、サポート吹田16の人一倍熱心な菰池さんと私も入り、2月に校長先生や地域と話し合う事が出来ました。既に、土曜日は運動場、体育館が開放されておりますが、実行委員長や委員も決まり、こどもプラザ事業の一環として6月より見切り発車する事になりました。「読み聞かせタイム」「マジック教室」「おもちゃ教室」の3ステーションで、3日に児童に案内状(申し込み)を配布、9日回収、希望人数を調査したところ、受け皿も少なかった事もあり、他教室が各30人前後に対し、116名の申し込みがありました。

第1回が15日と決まっており、さっそく講師の手配でSA12期の山地さん、石井さん、13期の増山さん、小北さん、14期の奥さん、先輩の皆様に電話してお願いをいたしました。皆様方は心よく引き受けていただき、ほっとしました。サポート16から中内さん、大野さん、加藤さん、瀬野さん、私、そして18期の現役生熊田さん、高齢クラブ、地域の応援が各教室3~4名あり、急きょ3クラスにわけ、1年44名(理科室)、2年33名(家庭科室)とし、地域の人で前半「折り紙」、後半を「おもちゃ」として、2年はその逆になり「はねかえる」を作りました。

3年以上の40名はSA先輩にお願いして、「ストローライダー」をつくり、飛ばして遊んだようでした。マジック教室はサポート吹田16の野原さん、菰池さん、そして地域のマジシャン中道氏とで指導に当たり、いまのところ人数も理想的のようです。恐縮ですが、私の5年生の孫がお世話になっております。

第2回目は7月6日に実施、おもちゃ教室の児童は前回より少し少なく100名でした。よって同じ要領で、3クラスに分け、SA吹田先輩の奥さん、増山さん2名にお願いし、サポート吹田16から8名、18期1名、高齢、地域から4~5名お願いし、1年・2年は「折り紙・カップこま」をつくり、3年以上は「クリオネ・カップこま」を作りました。帰る挨拶で“楽しかった”と言ってくれたのが、大変嬉しかったです。

9月~12月まで4回、期日は決まっていますが、児童は再度申し込む事になっており、おもちゃ教室の人気のあるのは嬉しいが、出来れば先が長いのでせめて2クラスぐらいにして、もっと地域の芸事の出来る人の協力を願ひ、受け皿を増やすよう実行委員長にお願いしました。どなたかこのような事をやっても良いという人が、おられましたらご協力をお願いいたします。

「傾聴ボランティア」(シニア・ピア・カウンセリング)

研修2005年短期集中基礎講座を受講して

岩城延重 (SA13期)

去る5月26日(木)～5月29日(日)までの4日間、大阪市立大学医学部研修センタ - 研修室にて、特別非営利活動法人ホ - ルファミリ - ケア協会(東京都千代田区神田淡路町千代田ビル2F)が実施された、標記講座を受講致しましたので、その際の様子と「傾聴ボランティア」について発信させて頂きました。

参加者は、全員で20名、男子は岩城1名でした。北は石川県羽咋市より、南は鹿児島県薩摩川内市より参加されておりました。地元大阪は9名(吹田市は私と他1名の計2名)。

初日は、自己紹介とオリエンテーションでスタート、参加者の皆様方は何らかの形でボランティア活動をされており、比較的早い段階で皆さんとコミュニケーションがとれるようになり、楽しく研修を受ける事が出来ました。

「傾聴ボランティア」の言葉を知るようになったのは、吹田市が吹田老人保健施設で「研修会」を実施されたのが初めてで、NPO法人ホ - ルファミリ - ケア協会理事長 鈴木絹英さんの講演を聞いたのが初めてでした。そして傾聴の大切さ、重要性も知ることになり、今回の研修会受講のきっかけとなりました。

「傾聴ボランティア」とは、話し相手が欲しいという悩みや、不安や寂しさを誰かに聴いて欲しいと思っている方の気持ちに寄り添って、耳を傾けてお話を「聴く」ボランティアのことです。

「傾聴」とは、耳・目・心いわば五感をフル活用して、自分の聴きたいことではなく、話し相手が言いたい事、伝えたい事、願っている事などを、深い思いやりと心で真剣に受けとめ、また、同時に話し手に深い関心を払い、その人を大切に思う、特別な意味合いをもたせたコミュニケーション方法ですから、諭し説得することではありません。性急に解決策を伝えることもしません。相手が聴いて欲しいと願っている事を批判や反論せずに、ありのままに受けとめて聴きます。

その為には、相手の身になってみる、相手の立場を尊重するといった態度や人間観も合わせて必要になってきます。

現在、吹田老人保健施設で市の研修を受講された方々による、「傾聴ボランティア」グループの立ち上げを検討されております。大変意義あることで、微力ながら協力していきたく考えている今日この頃です。

“ やさしい日本語 ” 北千里教室

藤田 久子(サポ - ト吹田16会員)

毎月第1と第3木曜日の10時前、いろいろなイントネーションの「おはようございます」が聞こえます。明るい声とさわやかな笑顔の中国から来た女性、穏やかににっこりするインドからの女性、ゆったりと話すパキスタンからの男性、ちょっとおすましではにかみやのベトナムからの女性。皆さん日本語を学習する方々です。

ここに来るのが2週間振りなので、その間の出来事を精一杯の日本語を使って話しています。

ボランティアの私たちは、もう学習した言葉なのかどうかと頭の中をクルクルさせながら、学習者が自分の思いを話すことができるようにと相槌を打ったり質問をしたりと、この会話から学習を始めます。

学習意欲は非常に高く、いつも感心させられることが多いです。記憶力、情熱などサポーターの私たちとの違いは年齢だけのものなのかと考えさせられます。一対一の学習を90分間で終え、30分間の国際交流をします。「ありがとう」をそれぞれの国の言葉で言い合ったり、七夕かざりをするのかなどのお話をしたりします。

この教室は今年4月に開設しました。ボランティアのサポーターは2003年3月にシルバーアドバイザー養成講座・国際交流活動コースを卒業した仲間、「サポート吹田16」の4人と“日本語サロン”からの数人です。サロンは卒業と同時に、日本語をサポートすることを目的にした仲間の勉強会です。1年間研修をして教室を開く準備をしました。このサロンでの研修はもちろんですが、サポーターはそれぞれに講座の受講、通信教育などで自己研鑽を積んで学習者に対応しています。

「中国に帰ります」と「中国へ帰ります」は同じなのか違うのか、違うのならどうしてかと訊かれたことがありました。日本語の難しさをあらためて噛み締め、質問されたことを機会に研修を深めること真髄に迫るものを感じています。

「第1回SA吹田全員集会」開催

河内義明（SA17期）

今年度の総会にて承認された年次実行計画に基き、第1回「SA吹田全員集会」を、7月27日吹田市立総合福祉会館にて開催致しました。幸いに台風の直撃を免れる事ができ、はじめての試みながら29名の出席者のもとで開催することが出来ました。

これまで「ブロック会議」を実施してきた経緯もありますが、今回、全体としての行動に結びつけ、より大きな成果をあげることを目的にしたものです。先ず武内会長の挨拶の後、

）吹田市歯科医師会より出前講座「歯の健康」について、岡歯科医院の岡賢二先生を講師にむかえ歯周病・口臭・入れ歯などにつき、大変懇切丁寧に解り易いお話を聴くことが出来ました。質問も活発に行われ、これに対し十分に納得のいく説明を受けることが出来、また、80才で20本の歯を残すよう努力すること、タバコの害や怖さ、口臭病予防に舌ブラシの使用、唾液が少なくなった時の対応など、幅広い指導を受けることが出来、大好評の90分でした。

）SA吹田の活動状況について報告がありました。

グル-プ発表として おもちゃづくり（丹羽） 手話（増山） 公園見守ろう会（三好・小北） 「あいほうぶ」喫茶（奥） 「つくも」喫茶（河内） ドリ-ムネット（新地）

サポ-ト吹田16（安藤） 歌体操（佐藤） 歌体操（橋本）について、各代表からますます活発に広がっていく活動報告がありました。

）歌体操各グル-プは以前より広範囲に活動しておられますが、今回は全体としての発表があり、出席者全員が歌体操を体験しながら研修を受ける事が出来、ちょうど5時の散会となりました。

？ あなたも『歌体操』を始めてみませんか ？

吹田では SA 修了者が 各地域の公民館や施設で定期的に活発な歌体操活動をされています。一緒に活動してみようと思われる方、見学希望の方は下記の会員まで連絡してご相談ください。(敬称略)

佐藤百合子 (SA 10 期)(第3 ブロック) TEL/FAX 06 (6877) 9 9 9 1
橋本 一江 (SA 6 期)(第4 ブロック) TEL/FAX 06 (6338) 5 3 6 0

SA吹田 活動予定表 (8月~9月)				
月	日	曜	行 事	場 所
8	2	水	「みんなで考える平和展」(SA連協) 10:30~13:00	梅田スカイビル5 F
	3	水	第3回ディスコン指導 14:00~16:00	五月が丘児童センタ-
	5	金	SA吹田役員会 10:00~12:00	南千里公民館
	5・6	金・土	「作って遊ぼう 手作りおもちゃ」 14:00~16:00	竹見台児童センタ-
	13	土	SA吹田「おもちゃづくり市民塾」 10:00~12:00	北千里公民館
	20	土	巡回「出前おもちゃ教室」 13:30~15:30	千里市民センタ-図工
	21	日	アパガ-デン子ども会おもちゃづくり 10:00~12:00	アパガ-デンヒルズ
9	1	木	「やさしい日本語」 10:30~12:00	北千里公民館
	3	土	にぎやかネット「おもちゃづくり」 10:00~12:00	北山田小学校
	8	木	日本語を知ろう・学ぼう・お話しよう「やまびこ」 10:00~12:00	北千里公民館
	9	金	SA吹田役員会 13:30~17:00	南千里公民館
	10	土	「みんなで楽しい土曜日にしよう」 10:00~12:00	松柏学園
	10	土	SA吹田おもちゃづくり市民塾 10:00~12:00	北千里公民館
	11	日	「みんなの健康展」 午前「みのり会」・「イン吹田いきいき歌体操」	メイシアタ-
	14	水	「ひがさいっ子ステ-ション」 10:30~15:00	東佐井寺小学校
	15	木	「やさしい日本語」 10:30~12:00	北千里公民館
	16	金	第5回「歌声の集い」 13:30~16:00	千里市民センタ-
	17	土	第4回「竹の子クラブ」 13:00~15:00	山田第3小学校
	17	土	巡回「出前おもちゃ教室」 13:30~15:30	(未定)

<<編集後記>> SA吹田の会員の皆様へ・・・『おもしろ算数教室』を受けてみませんか。
内容につきましては折り込みをご覧ください。暑い中でも頭を冷やしてチャレンジされては如何？
8~10月の長期天気予報によりますと、今夏の雨は平年並で気温は相当高いようです。25以下にならない熱帯夜が当分続くのではないのでしょうか。シルバ-にはこたえます。体力維持のために高タンパクといきたいものですが、「鰻」は価格の方が「うなぎのぼり」、やはり身体にやさしい「冷奴」+?の方がよろしいかも。同じ暑さでも「タイガ-ス」の連勝は別です。8月1日は、甲子園球場が落成した日だそうです。1924年、大13年(きのえね)のことです。
暑い時には、なんととっても「冷奴」がいちばん。くれぐれもご自愛専一に願います。(松川)